

七つの封印

	第一の封印	第二の封印	第三の封印	第四の封印	第五の封印	第六の封印	第七の封印
聖句 (黙示録)	6:1-2	6:3-4	6:5-6	6:7-8	6:9-11	6:12-17	8:1
シンボル	白い馬	赤い馬	黒い馬	青白い馬	殉教者の叫び	天地のしるし	天の静けさ
主題	福音の宣教	戦争	御言葉の飢饉	霊的な死	迫害	再臨の前触れ	
内容	弓を持っていた、冠を与えられた、勝利の上に勝利を得ようとして出かけた	平和を奪い取ることが許された、人々が互いに殺し合うようになった、大きなつるぎを与えられた	深刻な飢饉、そこなってはならないオリブ油とぶどう酒	黄泉が従っていた、黄泉に地の四分の一を支配する権威が与えられた、つるぎとききんと死と地の獣によって人を殺す権威が与えられた	殉教者たちが神様にいつまでさばくことをしないのかと叫んだ、同じく殺されようとしている兄弟姉妹の数が満ちるまで待つようにと言われた	太陽は黒くなった、月は血のようになった、天の星は落ちた、天は巻物が巻かれるように消えた、山と島はその場所から移された	半時間ばかり天に静けさがあった
語句説明	<ul style="list-style-type: none"> ・弓 = 神の言葉 ・冠 = 勝利の冠 	<ul style="list-style-type: none"> ・平和を奪い取る = 霊的&字義通り 	<ul style="list-style-type: none"> ・穀物を注意深く測る = 深刻な不足 ・穀物 = 神の言葉 ・オリブ油 = 聖霊 ・ぶどう酒 = ??? 	<ul style="list-style-type: none"> ・黄泉に地の四分の一を支配する権威が与えられた = 限定的で地上の一部 ・イエスは黄泉の鍵を持っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・神の言のゆえに、そのあかしを立てたために、殺された人々 = 殉教者 	<ul style="list-style-type: none"> ・リスボンの大地震 = 1755年11月1日 ・暗黒日 = 1780年5月19日 ・落星 = 1833年11月13日 	
時代	31 - 100 AD	100 - 313 AD	313 - 538 AD	538 - 1517 AD	1517 - 1798 AD	1755 AD -	終わりの時
時代背景	五旬祭によって始まった福音の宣布	福音を拒絶した結果による霊的戦争と迫害	福音を拒絶したさらなる結果、御言葉の飢饉	キリスト教の霊的死	多くの人が殉教した宗教改革につながる時代	大再臨運動(リバイバル)	

※上記のテーブルは“7つの封印”の学びの助けになることを意図して作られています。

※上記の内容は一神学的解釈であって、必ずしも絶対的な解釈ではありません。(特段解釈が分かれる項目は空欄、または???になっています)

オリブ山上での説教と七つの封印

オリブ山上での説教 (マタイ24、25章)

預言の概要

福音が宣べ伝えられる (24:14)

戦争と戦争のうわさ、また飢饉や地震が起る。しかしまだ終わりではない (24:6-8)

試練の時

かつて今後もないような大きな患難が起る (24:21)

しるしと終わり

日は暗くなり、月はその光を放つことをやめ、星は空から落ち、天体は揺り動く (24:29)

人の子が天の雲に乗って来る (24:30)

御使たちをつかわして、選民たちを呼び集める (24:31)

七つの封印 (黙示録 4:1 - 8:1)

四人の騎手 (馬)

第一の封印：白い馬の騎手が福音を宣べ伝える (6:1,2)

第二、三、四の封印：赤、黒、青白い馬の騎手が戦争、飢餓、疫病を起こす(6:3-8)

試練の時

第五の封印：迫害への抗議 (6:9-11)

しるしと終わり

第六の封印：大地震が起り、太陽は黒くなり、月は血のようになり、天の星は振り落とされた (6:12,13)

天は巻物が巻かれるように消えていく。

第七の封印：半時間ばかり天に静けさがあった (8:1)

黙示録のシンボル：色編

- ◇ 白 = 勝利の喜び、勝利、純粹さ
- ◇ 赤 (red) = 戦争、流血、暴力
- ◇ 赤 (scarlet) = 王族、流血、贅沢さ、豪勢さ
- ◇ 紫 = 王族、忠誠さ
- ◇ 黒 = 飢餓、死
- ◇ 青白い = 疫病、病気、死
- ◇ 金 = 輝き、堂々たること



わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている、と主は言われる。それは平和の計画であって、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである。

エシミヤ書29章11節